

協議会名称	たちばなアンビネット			
代表者名	田中 哲也(しらきアンビシャス広場副代表)			
協議会事務局	八女市立花町谷川1111 働く婦人の家 0943-37-1522			
対象地域	八女市立花町域			
協議会の構成	アンビシャス広場2、運動参加団体7、1市			
協議会の概要	平成15年4月に旧立花町内に3つのアンビシャス広場が開設され、それぞれ地域の特性を活かした青少年育成に取り組んできた。また、立花町中央公民館では、平成19年度より若年層育成の団体設立ため9教室(とびかたやま体験活動)が開設され、青少年と大人が一緒になって活動してきた。平成21年度からは、自主運営による自主活動に取り組むことになった。その後は、今回の連携事業に参加し、連携した15団体がそれぞれの団体の特色を活かし、一緒に活動する交流の場を設置しさらなる地域の活性化をめざしている。実行委員は各団体の代表を中心に構成している。			
主な活動内容	体験活動	(月 日)	(場 所)	(内 容)
		7月19～20日	天草ニューモラル会館	町内参加希望者によるキャンプ
		12月26日	森の里クリニック	介護施設利用者・地域の人等によるもちつき大会等
	交流会	5月12日	立花町中央公民館	役員・団体代表者による交流を深める研修会
		12月6日	立花町担い手研修センター	参加団体の成果発表会
その他	2つのアンビシャス広場と町の中央公民館・学校、そして、子どもと大人が活動している10団体で「たちばなアンビネット実行委員会」が結成された。 自負している団体がいくつかあるがその中でも介護施設の中に開設している「つくしんぼ」は、現代課題に取り組んでいる団体であると考えている。院長の理解のもと、施設の入居者、通院者、施設職員それに、地域の小学生と大人で構成している。子どもにとっては、「生きる力」を学ぶ場であり、また、大人にとっては生甲斐づくりの場となっていると考えている。 また、それぞれの団体の成果を発表する「たちばなアンビネットフェスティバル」は、各団体間の交流を深め、活性化への起爆剤になるものと期待している。			



たちばなアンビネットフェスティバル
(コーラスグループ「コスモス」)



たちばなアンビネットフェスティバル
(ダンスグループ「フレンズ」)